

『八潮市多文化共生推進プラン（骨子案）に対する意見・提案・質問書』

各委員からの主な意見のまとめ

● 日本語学習の支援について

主な意見	対応
開催場所や時間を増やすなど、外国人市民のニーズに合わせた支援が必要である。	施策1 1-1-2（他）日本語教室への支援
日本語ボランティアの人材確保や、養成講座の実施をしてほしい。	施策1 1-2-2（他）日本語ボランティア養成講座の開催 施策1 1-2-3（他）ボランティア団体などの設立の支援 施策1 2-2-2 やさしい日本語講座の開催
外国人支援の場所を確保してほしい。（日本語教室や相談場所など）	施策1 1-1-2（他）日本語教室への支援
市内では人材に限られるので、近隣大学の協力を得てはどうか。	検討中 （施策1 2-1-6（他）多言語サポーターの募集・活用）
日本語ボランティア団体の連絡会を開催し、団体同士の情報交換・共有だけでなく、市との連携を図る場として活用できる機会を定期的に設けたらどうか。	施策1 1-1-2（他）日本語教室への支援

● 外国人児童生徒への学習支援について

主な意見	対応
技能実習生よりも、日本に定住する可能性の高い外国人児童生徒への日本語学習についてより重要視すべきではないか。	施策1 1-1-3（他）日本語指導加配の教員による日本語指導及び生活習慣指導 施策1 2-1-10（他）就学にかかる資料の多言語化
外国人児童生徒の母語教育支援が必要ではないか。	検討中 （施策1 2-1-6（他）多言語サポーターの募集・活用）

● 相談窓口について

主な意見	対応
外国人市民意識調査の結果から、税金、年金に係る情報提供や相談所を設置することが効果的ではないか。	施策の柱2 1-1-1 相談体制の充実 施策の柱1 2-1-8（他）保健・福祉・子育て関連資料の多言語化

● 交流について

主な意見	対応
新庁舎が完成したら、外国人との交流コーナーを開設したらどうか。	要検討
海外の多文化共生事例についての研究会・講座の開催し、教育者や市職員だけでなく、外国籍市民を雇用している企業の人にも参加を促してはどうか。	施策 2 2-2-4 国際理解講座の実施 施策 2 2-3-1 外国人市民の就業等に関する意識啓発
地域の拠点である公民館や集会所等をふれあいの場として活用できないか。	要検討

● 防災について

主な意見	対応
緊急時の外国人の避難方法などについて、対応のフローが考えられていると良いと思った。	施策 1 2-1-9 (他) 防災情報の多言語化
災害時多言語シートを平時から避難所に保管しておいてはどうか。	施策 2 2-4-1 避難所運営における情報ツールの活用